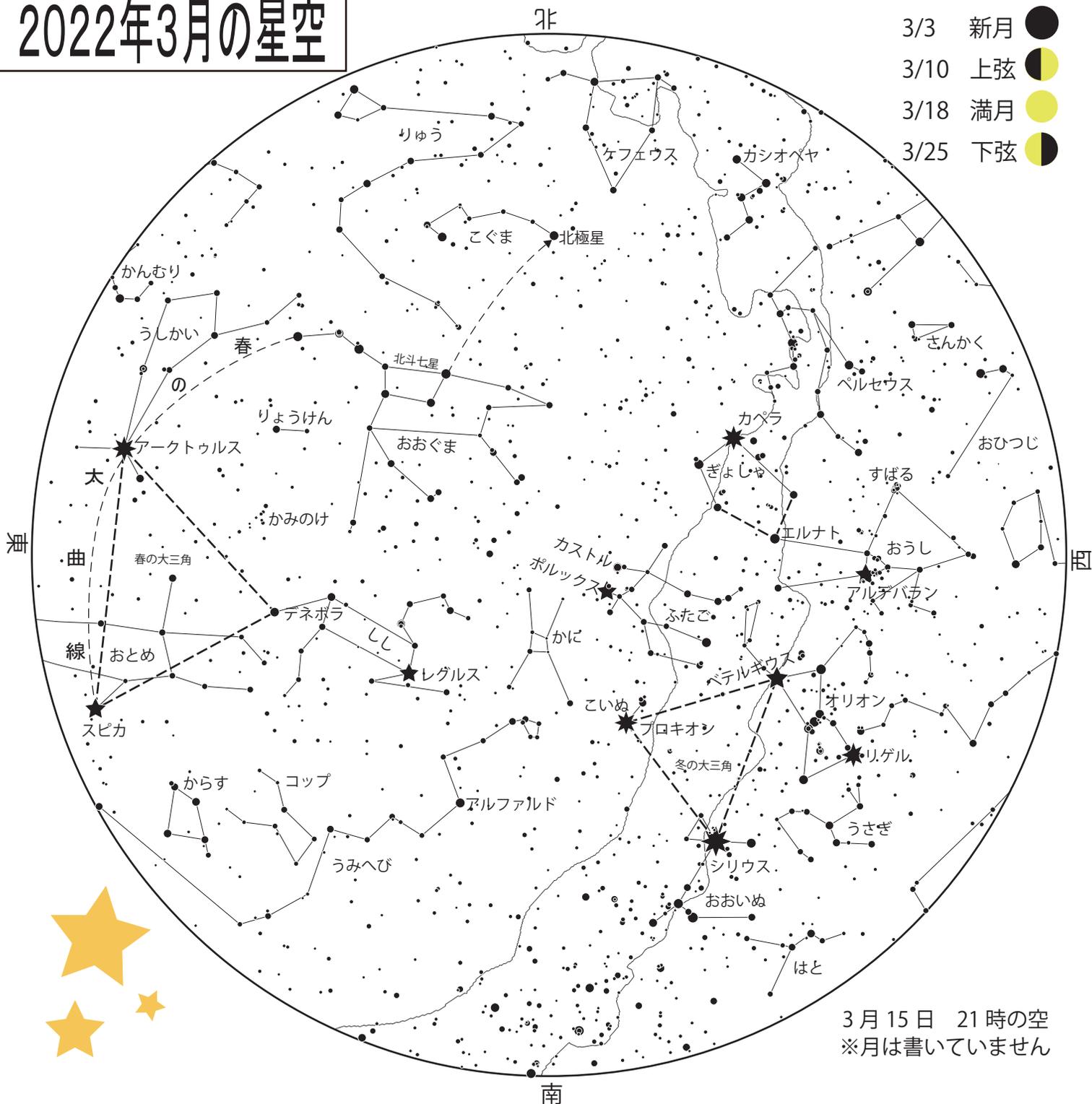


姫路で見る 2022年3月の星空

図の中心が頭の真上(天頂)、まわりの円が地平線です。
この星図は見ている方向の方位を下にしてください。



少しずつ春を感じられるようになる頃、星空も冬から春へと移り変わりつつあります。明るい星をたくさん持つ冬の星座たちは西へと傾いています。全天でいちばん明るい恒星「おおいぬ座のシリウス」と「こいぬ座のプロキオン」「オリオン座のベテルギウス」を結んでできる「冬の大三角」を確かめてみて下さい。オリオン座のもうひとつの一等星リゲルも目立ちます。オリオン座の西側には「おうし座のアルデバラン」があって、その北側には「ぎょしゃ座のカペラ」が輝いています。南西の空高くには「ふたご座のカストルとポルックス」が仲良さそうに並んでいます。

東の空には春の星座のしし座が見えています。?のマークをさかさまにしたような星の並びが目印です。ししの胸元に輝くレグルスは一等星の中でいちばん暗い星です。北東の空にはひしゃくの形として有名な「北斗七星」が見えます。北斗七星はおおぐま座のしっぽにあたる星の並びです。ひしゃくの器の先にあるふたつの星を結んで伸ばしていくと「北極星」を見つけることができます。

星空を眺めて、季節の変わり目を実感してみてください。